

## 会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回野田市文化センター運営審議会
議題及び議題 毎の公開又は 非公開の別	1 令和6年度文化会館、櫨のホール小ホール及び勤労青少年 ホーム利用状況（10月末現在）について（公開） 2 令和6年度文化会館委託文化事業実施状況（10月末現在） について（公開） 3 令和7年度文化会館委託文化事業計画（案）について（公 開）
日 時	令和6年11月26日（火） 午後3時から午後4時30分まで
場 所	中央公民館 講堂
出席者氏名	委員 沖田 多恵子、栗田 育子、佐々木 泉、清水 拓司、 菅 敦子、木名瀬セキ、工藤 達、久保 周平、 佐藤 文則、須賀田貞彦、染谷 智子、
	事務局 染谷 篤（教育長） 生嶋 浩幸（教育次長 兼 生涯学習部長） 安藤 剛行（生涯学習部参事 兼 生涯学習課長） 高林 雅行（生涯学習課主幹 兼 生涯学習課長補佐） 中村 恵子（生涯学習課係長） 渡会 裕子（生涯学習課主査） 草間 聡史（生涯学習課主任主事） 田中 未歩（生涯学習センター長 指定管理者 野田 市文化会館・櫨のホール活性化共同体） 本間 安雄（文化会館長 指定管理者 野田市文化会 館・櫨のホール活性化共同体）
欠席委員氏名	委員 有賀ヒメ子、石山 美代子、鈴木 俊世、 野島 洋二郎、藤本 司
傍 聴 者	1名

## 議 事

令和6年度第1回野田市文化センター運営審議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。

### 1 開会

事務局から会議が成立していることの報告及び会議の公開、会議録作成のための録音機の使用、傍聴者についての説明並びに会議資料の確認を受ける。

### 2 教育長挨拶

染谷教育長が挨拶を行う。

### 3 委員等紹介

委員及び職員の紹介を行う。

### 4 議事

議題（1）「会長及び副会長の選出について」を議題とする。

仮議長（教育長） 野田市文化センター運営審議会規則第2条第2項により、委員の互選によることとなっていることから、委員からの指名推薦により、会長に久保委員を選出する。

久保会長が挨拶を行う。

久保会長 野田市文化センター運営審議会規則第3条第1項の規定により、会長が議長を務め、委員からの指名推薦により、副会長に染谷委員を選出する。

染谷副会長が挨拶を行う。

議題（2）「令和6年度文化会館、樺のホール小ホール及び勤労青少年ホーム利用状況（10月末現在）について」、議題（3）「令和6年度文化会館委託文化事業実施状況（10月末現在）について」を議題とする。

久保会長 議題（2）及び議題（3）は、報告事項で関連がありますので一括説明とします。事務局より説明をお願いします。

生涯学習課長 << 資料説明 >>

久保会長 事務局の説明で御質問がありましたらお願いします。

須賀田委員 資料6ページ令和6年度の事業で、2番目5月11日と5番目8月10日の「リベットボタンのほらぺこワークショップ」は入場者

数が少ないようですが、どのような計画をされたのですか。

文化会館長　このワークショップは、参加型の事業で、ステージ上で親子一緒に工作をしてもらうため、少人数となっており、子供のときから舞台に慣れ親しんでもらい、文化会館になじんでもらいたい思いがあります。このワークショップは、4回シリーズで、年間3回のワークショップをやって、最後に集大成としてコンサートをやっています。1回目の5月11日は土曜授業と重なり少ない結果となりました。

須賀田委員　回数が増すごとに人数が増えるのは有り難いことだと思いますが、どのくらいの人数を集めたいと思っているのですか。

文化会館長　次の12月開催のワークショップは午前35名、午後35名です。

須賀田委員　文化会館を使って60名、70名でやるのがふさわしいのはいかがでしょうか。文化会館の大きさでは200人とか集めるのが一般的な考え方だと思います。

文化会館というものが、半数くらいを集めるのが使い方としては有効なものではないですか。そういう計画があって、200人、300人集めるのが文化会館の役割で市民が求めていると思いますが、いかがでしょうか。

文化会館長　そのようなのが文化会館の一番良い利用法かと思いますが、先ほど申しましたように、この1事業は参加型で、このホールを野田市民の方に知ってもらうにはどのような方法があるかをずっと考えています。舞台の上で、実際に子供と保護者と一緒に楽しんで、そして舞台と客席で鑑賞できるのも一つですが、舞台の上で家族一緒に文化会館を味わってもらうという意味でこの企画をしています。

リベットボタンさんとのきっかけは、野田市のアーティストで、市内では、幼稚園や学童を通じて、食育を含めて活動しているアーティストです。

須賀田委員　大まかに理解して趣旨も少しずつ分かるようになりましたが、実際これと同じようにやるとすれば、社会教育の中で働きかけてもらって、小中学校の体育館を使っても同じような喜びが味わえますよ

ね。まして、小中学校の方が地元にあってわざわざここに来なくてもできる利点があると思います。そういう考えを皆さん方が発信して、市民が動き出す、市民が喜び出す、それこそが参加型の楽しさを味わうことができる市民活動につながり、市も活発化すると思います。

生涯学習課長 御意見ありがとうございます。確かに委員がおっしゃるように学校の方でやっていただくというのもアイデアとしてあると思います。教育委員会の中で情報共有しながらいろいろな形で地元のアーティストの育成という形で進めていきたいと考えています。

須賀田委員 学校でと気軽に言いましたが、働き方改革で学校も大変なのですよ。職員の方々がいる中で学校開放はいろいろ大変だと思いますが、私が言っているのは、そこでもできるものはそこでやらせよう、文化会館でやるものは文化会館でって考え方の違いがあつていいと申し上げるつもりで発言しています。

工藤委員 先ほどの土曜日が学校の授業だった話ですが、学校がない日だったら来られたかということ、市内の小中学校では、学校がない土曜日は空き教室でオープンサタデークラブが開催されているので集客は難しいと思います。その辺の情報共有をしながら、既に来年度の計画がされていますので、開催日は一つのポイントになると思います。

7月21日（日曜日）に開催した久保田雅人さんの親子工作教室は、550人の集客があったというので、開催方法というより、開催日時の方を検討していただければと思います。

生涯学習課長 オープンサタデークラブの所管は生涯学習課ですので、きちんと共有していきたいと思います。

リベットボタンは、私も昨年度見させていただきました。子供たちも一緒になって歌ったり踊ったりする楽しいコンサートですが、小学校でいえば低学年の子たち、もう少し下の就学前の子たちも十分楽しめ、むしろ就学前の子供たちの方がメインと思えるくらいの内容なので、それも含めてサタデークラブとの兼ね合いとも含めながら今後進めていきたいと思います。

沖田委員 イベントパターンに関しては、須賀田委員と同じ意見で、少ない人数のコンサートを、文化会館を使うメリットがあるかという点、普通の民間団体ではしないと考えるので考慮していただきたいと思います。全体を見て、毎年言わせていただいています、文化会館を使う事業ということで、民間ではできないような舞台上、赤字になろうとも、良い作品を市民に広げていただくというのが文化会館の使命でもあると思っていますので、赤字については全然思うことはないと言いつつ、毎年、これだけの赤字が出ていると、本当にニーズがあるものを持っているのかなって疑問に感じるところです。

赤字があるってことをどう思っているのかと、昨年の会議でも出ていたと思いますが、余ったチケットを例えばギリギリでもいいので、障がい者団体を招待するとか席を空席で終わらせない配慮することはできないかっていうのが上がっていたと思いますが、そのようなことをしていただいたのかお聞きしたいと思います。

それから、今日の資料で、今後の実施予定の事業は、未定ですので、予定人数としか入っていませんが、例えば前回の会議で未定であった事業の結果が今回の会議資料にないので、昨年度の事業であっても報告として載せていただきたいと思います。

文化会館長 昨年度2月の審議会ではなぜ毎年赤字なのか、赤字の穴埋めはやっているのか、空席のところは無料でもいいので子供さんを招待する方法を考えたのかとの質問がありました。

一つは集客人数をどのように設定しているかということですが、満席にするのが一つの私の目的でございますが、コロナがあって釣り合いのバランスが崩れておまして、出演料とチケット代が見合っていない、集客ができていない非常に難しい状況ですが、来年度はこれを縮小するよう事業に取り組んでまいります。

生涯学習課長 昨年度の資料がないということですが、委員のおっしゃるとおり次の会議に報告します。

久保会長 他に質問ありますか。質問がないようでしたら次に進めさせていただきます。

議題（4）「令和7年度文化会館委託文化事業（案）について」を議題とする。

久保会長 議題（４）令和７年度文化会館委託文化事業（案）について審議いたします。よろしくお願ひします。

生涯学習課長 < 資料説明 >

久保会長 ありがとうございます。事務局から説明がありましたが、何かご質問ありますか。

須賀田委員 内容によっては、事業計画の時点で予定入場者数や入場料等を提示していただくといいのかなと、分かるものについては計画の中で教えていただくと有り難いと思います。これは質問ではないので、そういうのがあればいいってことなので回答は要りません。

文化会館長 補足ですが、講演委託料をチケット料金で割ると予定集客数になります。

久保会長 他に質問はありませんか。ないようですので、議題（４）令和７年度文化会館委託文化事業（案）について事務局提案の通り承認することにいたしますがいかかでしょうか。

異議なしの声

久保会長 賛成多数と認めますので、承認をいたします。

議題（５）その他を議題とする。

久保会長 次に議題（５）その他に移ります。事務局から説明をお願いします。

生涯学習課長 それでは生涯学習課から２点御説明を申し上げます。まず１点ですが、委員の皆様による文化会館委託文化事業の視察についてでございます。

今年度も今後実施を予定しております委託文化事業について、皆様に視察をしていただきまして当審議会で御意見御感想を頂きたいと考えております。

視察していただく事業につきましては改めて後日御案内の方、

申し上げたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。  
それからもう1点でございます。市制施行75周年事業について  
でございます。本市におきましては令和7年5月3日に市制施行  
75周年を迎えます。この歴史的な節目を市民の皆様とお祝いする  
ため、市長部局とともに様々な記念事業の準備を進めておりま  
す。その中で文化会館との共催による事業を計画しているところ  
でございます。こちら詳細につきましては次の当審議会において  
御説明したいと考えておりますのでその際はよろしくお願いいたします  
します。説明は以上でございます。

久保会長      ありがとうございました。何か質問ありますか。  
それでは特にないようですので、以上を持ちまして、令和6年度第1  
回野田市文化センター運営審議会を閉会といたします。

以上